

本場のマリアッチを広島に迎えて
「マリアッチ・アガベ」の演奏と食事を楽しむ会」を開催しました

この度、9月13日（水）18時30分から20時まで、広島市中区三川町にあるイタリアン・レストラン“GUERNICA n i s h i o”（ゲルニカ・ニシオ）において、会員ならびに関係者83名が出席して「マリアッチ・アガベ」の演奏と食事を楽しむ会」を開催しました。



“GUERNICA n i s h i o”で演奏する“マリアッチ・アガベ”

“マリアッチ・アガベ”は、マリアッチ発祥の地と言われるメキシコの中央高原ハリスコ州、州都グアダハラ市で1986年に結成されたベテランのマリアッチです。本場メキシコの代表曲から日本の歌謡曲までレパートリーも幅広く、メキシコのおおらかで陽気な気質が演奏やパフォーマンスににじみ出てきます。毎年9月には、メキシコの独立記念日を祝う祭りとして、東京お台場、大阪梅田で開催される“フィエスタ・メヒカーナ”に出演のため来日しており、今回は大阪滞在中に広島まで足を延ばし、広島では初めての演奏となりました。



開演の挨拶をする金井会長

開演に先立ち、日本時間 9 月 8 日に発生したメキシコ合衆国南部沖の地震の犠牲になられた方々に対して、出席者一同、黙祷を捧げました。

当親善協会の金井会長のご挨拶と乾杯のご発声で開演となり、演奏が始まりました。店内は着席できない方も多々おられるほどでしたが、本場マリアッチの演奏、歌唱力に圧倒されたり、聞き入ったりの時間を過ごすことができました。

また、2 部構成の演奏の合間、歓談の時間には、先頃広島県内の 2020 年東京五輪メキシコ選手団競技別の事前合宿地 10 市町が決定し、担当する広島県経営企画チームより報告をいただき、合宿地である呉市、三原市の担当者からも意気込みを伝えていただきました。

会場が手狭で、出席いただいた方々には、不自由で、大変ご迷惑をおかけしましたが、今後改善を図り、メキシコ文化をさらに広めて、理解を深めていただけるよう努めてまいります。



演奏中の店内の様子

——廿日市市でメキシコ選手団事前合宿地決定の盛り上げに一役——

「“マリアッチ・アガベ”の演奏と食事を楽しむ会」出演のために来広した“マリアッチ・アガベ”は、同日14時より“ゆめタウン廿日市”1階のゆめ広場隣りに設置された特設ステージにおいて、30分にわたり演奏いたしました。

東京五輪メキシコ選手団事前合宿地（空手、柔道、バスケットボール）に決定した廿日市市から、市民にメキシコのことを知ってもらい、身近に感じてもらえるよう“マリアッチ・アガベ”の来広に合わせて、出演依頼があり、その盛り上げに一役買うことになりました。ステージ前に用意された椅子は満席となり、演奏が始まると周りに多くの人が集まってきて、立ち見客で溢れていました。

ステージ出演終了後には、“FMはつかいち”にも出演し、マリアッチの魅力を存分に発信することができました。



ゆめタウン廿日市で演奏する“マリアッチ・アガベ”



ゆめタウン廿日市のステージで聞き入る来場者



“FMはつかいち”のスタジオ前で